

センパイ市民に聞く

# SHIMOTSUKE LIFE

荒畑さん Family

## 私たちに必要なものが ちょうどいい範囲にある 子育てが楽しい街



031 荒畑恵子さん

032 荒畑花音ちゃん

033 荒畑奈音羽ちゃん

034 荒畑康史さん

下野市在住10年目の荒畑さんご一家。康史さんは会社員、恵子さんは主婦でもありフォトグラファーとしても活躍中。休日になると、夫婦共通の趣味であるカメラを片手に、お子さまや愛犬と一緒に下野市の風景写真を撮りにお出かけすることも。そんな、毎日を満喫している荒畑さんご夫妻に、下野暮らしについてお話を伺いました！

静かで住んでいる人がやさしくて、野菜もおいしい！

下野市はシロと遊べる広い公園がいっぱい♪



シロちゃん

荒畑さんファミリー  
荒畑康史さん(会社員)・恵子さん(主婦兼フォトグラファー)  
花音ちゃん(小学6年)・奈音羽ちゃん(小学1年)

## 下野市に住まいを決めたきっかけは？

「医療機関の充実や首都圏へのアクセスのよさ、それに閑静な居住環境ですね。現在の子育て期から老後に至るまでのライフスタイルを考慮し、下野市が最適と考えました(康史さん)」 「私は埼玉、主人は茨城に実家があるので、下野市だと電車でも車でも行き来が楽なんです。ほかの街も検討しましたが、生活環境もいし住みやすさ的にも抜群ではないかと思います(恵子さん)」



下野市の自然を生かした家族の写真。



## 住む前と住んでからの印象は？

「居住環境としてはほぼ変わりません。むしろ公園などの整備がされていて、印象はよくなりましたね(康史さん)」 「私たちの住まいは新しい住人と、もともとの地元の方が入り混じる地域なんですけど、ご近所とのほどよいつながりがいいなって思いました。子どもたちの登校を見守ってくれたり、お野菜をおすそ分けしてくださったりとか。あたたかいばかりなので、安心しましたね(恵子さん)」

## 仕事や子育ての面でよかった点は？

「会社への距離は多少あるものの、道路環境や4号バイパスへのアクセスもよいので、快適に通勤できています(康史さん)」 「長女が1歳の時に引っ越してきたので、全く周りに友達がいない状況からのスタートでしたが、子育てしている人があまり孤独にならないようにサポートしてくれるのがうれしかったです。『育児ママ・パブリフレッシュ事業』も利用させていただきましたよ(恵子さん)」

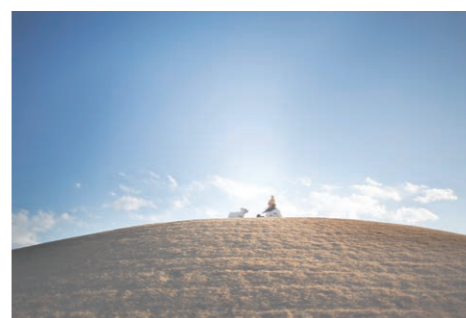


何気ない日常も、絵になる。



## 転居してからご自身やご家族の変化は？

「市や自治会行事に参加しやすいので、知り合いも自然と増やしていくことができましたね(康史さん)」 「家族みんながのびやかに暮らせるようになりました。犬も飼えだし、近所を散歩するだけでも、いろいろな風景を楽しむことができるので、写真も撮りがいがあります。ゆっくりと、こうしてその土地の人になっていくのを、心から楽しいと思いつながりながら毎日暮らしています(恵子さん)」



写真は全て恵子さんが地元で撮影したもの。「下野市はいいスポットばかり」と恵子さん。

